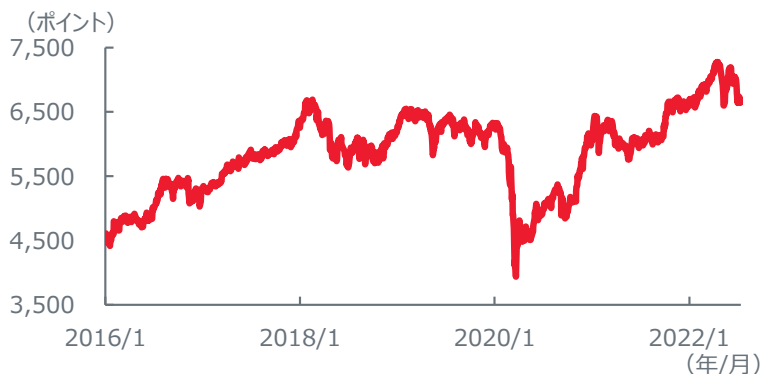


(対象期間：2022/7/11～2022/7/15)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年7月15日)

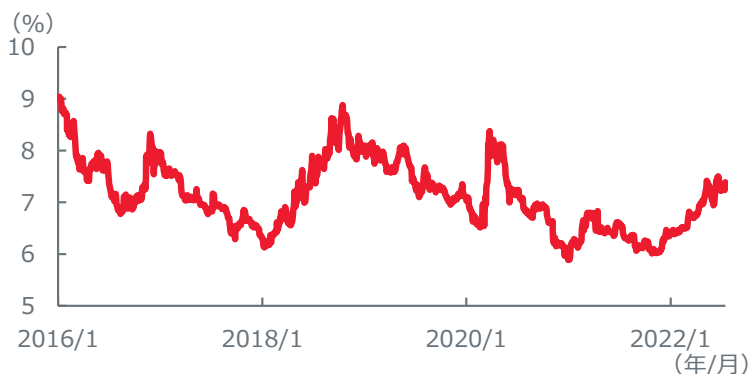


【株式市場】

11日のインドネシア株式市場は薄商いの中で小動きとなりました。同日発表された6月の小売り売上高は前月比で2.9%上昇し、8か月連続のプラスとなりました。12日はドイツが火力発電所の再稼働を計画していることを受けて石炭価格が上昇し、石炭株は大幅に上昇しましたが、取引全体は低調となりました。14日は6月の自動車販売台数の大幅な増加を受けて自動車関連株が上昇した他、Eコマース大手株なども堅調となり上昇に転じました。15日は商品価格の下落から鉱業株等が大幅下落となり、インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/7/8	2022/7/15	変化率
6,740.22	6,651.91	-1.31%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年7月15日)



【債券市場】

11日は翌日のイスラム国債の入札を前に様子見姿勢が強まり利回りはやや上昇しました。12日のイスラム国債入札では応札額は前回から減少し、発行額は政府の当初目標をやや下回りました。低調な入札にも関わらず、利回りは低下しました。14日は前日に発表された米国の消費者物価指数が上昇したことや通貨ルピアが弱含みとなったことなどから、インドネシア国債利回りは大幅に上昇しました。15日も引き続き外国人投資家の資金流出などを背景に利回りは上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/7/8	2022/7/15	変化幅
7.274	7.387	+0.113

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年7月15日)



【為替市場】

世界的な景気後退懸念が意識される中で、ベースメタル価格やパーム油価格が大幅に下落したなどを背景にルピアは週の半ばにかけて対米ドルで下落しました。特に14日は前日に発表された米国の消費者物価指数が市場の予想を大幅に上回る上昇となったことから米ドル高が進み、ルピアはさらに下落しました。15日に発表された6月の貿易収支は50.9億米ドルの黒字となり、貿易黒字は26か月連続となりました。貿易黒字の大幅増加を受けてルピアは上昇しました。ルピアは前週末比対米ドルでほぼ変わらず、対円では上昇しました。

2022/7/8	2022/7/15	変化率
0.9072	0.9246	+1.92%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。